

## 日立市後援パソコン入門講座を終了して

2021年は学校教育のデジタル化が動き出す「教育ICT(情報通信技術)元年」となる。情報端末は一人に一台の時代を迎えている。国は全ての小中学校へのパソコンやタブレット端末の配備を終えて、子ども一人ひとりに合わせた、きめ細かい指導やプログラミング教育の充実を進めている。デジタル人材などの育成に向けた体制整備は待ったなしで、教員の指導力向上も必須になっている。

またシニア(高齢者)のICTスキル向上も大きな課題だ。スマホなど情報端末を利用した情報サービスは急速に普及している。行政の情報サービスもシニアが一人一台の端末を持つことにより、格差社会が生じないようにしなければならない。子どもから高齢者まで一貫した情報化を推進することが重要な課題となっている。

Cnetのパソコン教室では、これら社会情勢の急激な変化に対応するために、日立市行政マネジメント課ICT推進室と日立市教育委員会生涯学習課の後援を受けて、次の2つのパソコン講座を昨年7月に開講して12月末に終了した。

(1)シニアのためのパソコン入門講座

(2)市民のためのプログラミング入門講座

当初は4月からの開講を予定していたが、新型コロナウイルスの発生で、緊急事態宣言が発令されたため、開講は7月になってしまった。教室は三密回避のため、一つの講座の受講生に制限をしなければならず、4つの講座に分けて開講した。そのため平日だけではなく土曜日の講座も設けることにした。木曜日午前の講座と午後の講座、土曜日の午前の講座と午後の講座と、4つのコースに分けて受講していただいた。

「パソコン入門講座」には、22人の受講があった。市への後援申請のときには、隔週2回で6か月間の講座として120人日の参加で計画したが、トータル252人日の講座受講生があった。平均年齢は、男性が76歳で女性は68歳であった。コロナ感染症対策として高齢者の外出自粛などが呼びかけられているところだったが、元気な多くの高齢者が講座に参加してくれた。



Cnetパソコン教室での  
「シニアのためのパソコン入門講座」

受講者からは次のようなご意見と要望があった。

- ① 初心者でしたが今回パソコン教室に来られて勉強になり楽しく学べました。これを機にまだまだ学べたらと思っております。
- ② 以前に少しパソコンをやっていたので何とか付いていけました。さらに続けて上達したいです。
- ③ とても有意義だったので週一回でも受けたいです。
- ④ 講師の先生とサポーターの方が親切にパソコンの意味を説明してくださり、わかりやすく教えていただきました。ありがとうございました。
- ⑤ 講座回数が週一回ならば尚よかったです。